

平成 30 年度 厚生労働省科学研究 難治性疾患等政策研究事業 領域別研究
非癌、慢性炎症性リンパ節・骨髄異常を示すキャッスルマン病、TAFRO 症候群そ
の類縁疾患の診断基準、重症度分類の改正、診断・治療のガイドラインの策定
に関する調査研究

第 1 回研究班会議

(大阪大学銀杏会館 大会議室 平成 30 年 6 月 9 日 (土))

プログラム (案)

(進行係__村山、書記__山本)

9 : 00 ~ 9 : 15

開会のあいさつ：経過説明・・・吉崎和幸

ご挨拶 文：武村真治様 (国立保健医療科学院 研究事業推進官) 披露

9 : 15 ~ 9 : 30

自己紹介

* 新研究分担者

* 新研究協力者

* 拠点病院担当者 (班員以外) (○名)

* AMED・関連疾患オブザーバー (○名)

* キャッスルマン病患者会 (2 名)

* 事務局

研究予定 前半 (9 : 30—12 : 15)

9 : 30 ~ 10 : 00

平成 30 年度研究概要・・・吉崎和幸

10 : 00 ~ 10 : 15

CD、TAFRO、IgG-4、POEMS について・・・青木定夫

10 : 15 ~ 12 : 15 総合討論・・・座長 青木定夫

CD、TAFRO、IgG-4、POEMS の病態整理と鑑別診断

症例発表者

・ 東光久

(福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー)

・ 並河明雄

(NTT 東日本関東病院)

・ 能登原憲司

(倉敷中央病院)

コメンテーター

・ 中世古知昭

(国際医療福祉大学三田病院)

・ 川野充弘

(金沢大学附属病院)

昼食 (12:15 ~13:00)

13:00 ~13:30

CD の診断基準、重症度分類、診療ガイドラインの改訂と治療アルゴリズムの策定・・・川端浩

13:30 ~14:00

TAFRO の診断基準、重症度分類、診断ガイドラインの改訂と治療アルゴリズムの策定・・・正木康史

14:00 ~14:30

CDCN による国際診断基準、重症度分類、治療アルゴリズムの提示と討議点・・・井出眞

14:30 ~14:45

血液学会、リウマチ学会との連携の強化・・・岡本真一郎 (代、吉崎)

14:45 ~15:45

休憩 (途中より指定難病申請状況など提示)

研究予定 後半 (15:45 ~17:15)

15:45 ~16:15

AMED 等申請・・・村山真一

- 1) CD のエビデンス解析 (エビデンス創出)・・・松田達志、村山真一
- 2) CD のラパマイシン治療・・・三村正文、村山真一

16:15 ~16:30

拠点病院体制の確立と活動・・・矢野真吾 (代、吉崎)

16:30 ~16:45

患者数、患者分布、患者状況、治療情况等の実態把握のためのアンケート調査による疫学調査の経過及び倫理委員会への要望と実情・・・岡本真一郎 (代、水木満佐央)

16:45~17:00

患者会の活動、今後の方針・・・患者会

17:00 ~17:15

班の HP 作成と分担・・・村山真一

17:15 ~17:30

事務連絡・・・山本祥子

17:30 閉会